

「津久見市立地適正化計画（案）」に対する意見の概要と市の考え

市民の意見を募集するパブリックコメント手続を行ったところ、次のとおりご意見をいただき、ご意見に対する結果（意見の概要と市の考え）をまとめましたので、お知らせします。

【パブリックコメント手続の実施】

意見募集期間	令和４年９月１６日 から 令和４年１０月１７日 まで
意見提出件数等	意見提出者数 ５人 意見提出件数 １８件

【パブリックコメント手続の結果】

No.	意 見 の 概 要	市 の 考 え
1	① ○都市マス、グランドデザインなども作成していますが、立地適正化計画をつくることで、どのような効果があるのでしょうか？また、どのような事業ができるのでしょうか？	● 立地適正化計画は都市マスの高度化版と位置づけられており、都市機能・居住を誘導する区域や都市防災の方針を示すことで持続可能な都市づくりを目指していくものです。 ● この計画を策定することで「都市構造再編集中支援事業」等の事業を実施することが可能となり、国の財政的支援を受けることが出来ます。 ● 現在、都市構造再編集中支援事業として、新庁舎での子育て支援活動・市民活動拠点の複合的整備、街なか観光拠点整備、周辺の道路、緑地、つくみん公園等の整備を検討しています。
	② ○居住誘導区域を見ますと、私の祖母の実家が含まれていません。これは、将来的に住んではいけないということなのでしょうか？また、住めない、住むことに適していないとなると資産価値が下がるのではと思いますが、何か対策はあるのでしょうか？	● 居住誘導区域は今後、利便性や安全性の観点から、長い時間をかけて居住を誘導していきたいエリアです。一方で、居住誘導区域外に住んではいけないということはありません。 ● ただし長期的に見ると、居住誘導区域外において人口減少が進むことで資産価値の低下を招く可能性もあります。それに対しての具体的な対策はありませんが、今後とも、様々なケースを想定し、農業、産業等も含めた総合的な視点で土地活用を検討していく必要があると思います。
2	③ (概要版 9P の誘導施設) ○堅徳・長目エリアの誘導施設に商業施設があります。確かに、多くの店舗が廃業し商店は少ないと思いますが、この計画をつくることにより、コンビニなどの新たに店舗を建築する際には何か支援策があるのでしょうか。	● 本市では、企業立地や新規創業を促進するために「津久見市企業立地促進助成金」や「津久見市創業支援事業補助金」等の支援施策があります。 ● また、この計画による更なる支援策については、都市機能（施設）の必要性や地域の実情にあわせ、検討していきたいと思います。
	④ ○全てのエリアにある交流施設（複合施設）とはどんなものを言うのですか。	● 交流施設（複合施設）は、交流機能に加えて、防災機能、観光機能、交通機能のいずれか一つ以上を有する施設を想定しています。 ● 具体的には、地区集会所・公民館等の有効活用による、賑わい、防災等を目的とした、地域の拠点となる施設（機能）を各地区に誘導していくことを将来的な目標としています。
	⑤ (概要版 18P の目標) ○街なか観光拠点施設の年間入込客数 30 万人は達成可能でしょうか。	● 令和 3 年度に策定した、『「街なか観光拠点」整備に向けた基本計画』では、これまでの調査や近隣の類似施設の実績等を踏まえ、年間入込客数の目標を 30 万人としています。

No.	意 見 の 概 要	市 の 考 え
		● 目標の達成は容易ではないと思われますが、今後の施設運営等を鑑みますと、集客目標の達成は安定した運営の前提条件になりますので、目標達成に向けた取組を積極的に推進していくことが必要と考えています。
⑥	○防災対策は大変重要と思います。地区別の個別避難計画の作成割合 100%は早期に目指すべきと思いますが、令和 22 年までに達成とお考えでしょうか。それとも、出来るだけ早くと考えているのでしょうか。	● 様々な災害リスクのある本市では、地区別の個別避難計画の作成は特に重要度の高い取組です。 ● そのため、出来るだけ早い段階での目標達成を目指します。
	○居住誘導区域について 地図上で判読できませんでしたが、上青江エリアに今回造成した鬼丸団地が含まれているようですが、無理やり感はありません。 居住誘導区域は、下水道供用もしくは計画区域で良いのではないのでしょうか。 能力的に可能かは不明ですが、下水道施設もさらに有効活用できると思います。	● 旧鬼丸アパート周辺は、災害リスクも少なく良好な住環境を有しており、現在「ルポ鬼丸」と称した住宅地造成を実施中で来年春には販売を開始する予定となっています。このようなことから、居住誘導区域に含めていますのでご理解願います。 ● 居住誘導区域は、ご指摘されたインフラ（下水道等）が整備されている区域のほか、公共交通等の利便性が高い区域、土地区画整理事業等の宅地整備が行われた区域を基に設定しています。 ● なお、下水道認可区域内では公共下水道、それ以外の区域では合併処理浄化槽等による排水処理を推進しています。
3	○誘導施設について どのエリアにも商業施設が含まれているが、住民の希望する施設形態や規模などの調査をされましたか。住民が望むようなものを誘導するのは難しいのではないのでしょうか。 各エリアから駅北側の商業施設への移動手段を整備した方が、住民と商業者にとって現実的で持続可能だと思われます。	● エリア毎に、地域住民のご意見をお聞きした中で、商業施設の必要性が多くあげられたことから全てのエリアで誘導施設に設定しました。 ● これは、以前は居住地の近くに立地していた商業施設が、様々な事情で閉店に至ったことによる不便さを感じていることからのご意見だと思います。 ● しかしながら、各地域の人口等から見ると、商業施設の誘導は困難とも言えます。 ● そのようなことから、ご意見のとおり市中心部と各地域間の移動利便性を高めていくことは大変重要ですので、今後とも、公共交通や道路インフラの整備を推進していく必要があると考えています。
⑨	○防災指針項目について 離島の避難計画は示されていないようですが、どのようにお考えですか。 天災については各島での対応になると思います。 無垢島は、島外への原発事故避難計画路が必要になると思います。	● 今回の計画は都市計画区域内を対象としていますので、離島・半島部の避難計画は示していません。 ● 一方で本市の防災において、離島・半島部を含めた、市全域を対象とした「地域防災計画」の見直しを行う予定としていますので、その中で、離島の対策を検討

No.	意見の概要	市の考え
		することになると思います。
4	⑩ ○高速を車で降りて車で走ると 217 号線に入ります。ずっと走ると、イルカ島に向かう道につながります。道路の名称を「イルカライン」と命名してはどうか。道標が少ない。移動中、車の中から見ても楽しくなる道標が少ない。	● イルカ島は本市を代表する観光施設の一つですので今後も積極的に PR していきたいと考えています。 ● いただいたご意見については、今後の取組の検討において、参考とさせていただきます。
	⑪ ○コンパクトシティ整備するとき、新市役所、つくみん公園内を車イスの方がスムーズに移動出来る様にお願いします。弱者の方がわかりやすい様に手話表現した看板設置は必要だと思います。ノーマライゼーション重視、誰にでもやさしい町づくり。	● 新庁舎・庁舎周辺等の整備については、バリアフリー化など、特に高齢者や障がい者の皆様の移動利便性に配慮し検討を進めています。 ● また、市民や観光客が、居心地よく歩きたくなる「ウォーカブルなまちづくり」を、国の補助事業を活用し推進しています
	⑫ ○工場群の夜景を落ち着いて眺めることが出来る（つくみん公園の海沿いなど）石灰石で作成したイスをおく。流されない、災害に強いイス。	● 現在、つくみん公園の海沿いのエリアにおいて視点場整備を検討しています。 ● イス構造等の詳細については、今後の検討において、参考とさせていただきます。
	⑬ ○（ある人と時々話します。）案山子を何体か店の前などにおく。毎日だけでなく、土・日とか町の人口が増えて活性化？着せる服、レイアウトなどは店の人にまかせる。	● いただいたご意見については、今後の取組の検討において、参考とさせていただきます。
5	⑭ ○津久見市は、面積が広いわけではありませんが、離島・半島があり、移動しやすい交通体系の構築については、十分考える必要があると思います。 臼杵や佐伯に行くのではなく、新庁舎を中心とした場所に集まり、半日以上過ごせるようになれば、賑わいにつながると考えます。そのために、ワンコインバスや乗り合いタクシーなど住民の意見をよく聞き、利用しやすい物を考えてもらいたいです。	● ご意見のとおり、市中心部と離島・半島部の移動時間は、車や船で 30 分程度であり、市全体がコンパクトであると言えます。 ● 現在、都市構造再編集集中支援事業として、新庁舎での子育て支援活動・市民活動拠点の複合的整備、街なか観光拠点整備、周辺の道路、緑地、つくみん公園等の整備を検討していますので、新庁舎周辺の賑わい創出には大きな期待を寄せています。 ● そのようなことから、市中心部と離島・半島部をつなぐ、今後の公共交通のあり方が大変重要になると思われます。 ● 住民の意向を踏まえ、交通事業者等と協議を行う中で、住民ニーズに柔軟に対応し持続可能な公共交通のあり方を検討していきたいと思っています。
	⑮ ○高齢者が増える中、買い物難民が増えていきます。買い物に行って、自分の欲しいものを選ぶ、知っている人に会って会話をするという当たり前の日常が高齢者を元気にします。それができるような方策	● 市内のスーパーで、サポートカーを見かけますが、今後とも、高齢者や障がい者の皆様の、買物や通院の支援は必要と思います。 ● 新庁舎には、子育て支援活動・市民活動

No.	意 見 の 概 要	市 の 考 え
	を市がリーダーシップを持ち、行って欲しいです。 今、市内を走っている買い物を助けるサポートカーは、自分で買い物に行けて重たいものは自宅の玄関まで届けてくれ、利用者は喜んでいて聞いています。このように、人のサポートもある優しい行政を期待しています。	拠点を複合的に整備する予定としており、周辺のスーパーやつくみん公園との相乗効果にも期待がかかります。 ● 高齢者も含め多くの市民で賑わうエリアに発展させることで、市民交流等に拍車がかかり、市民生活の満足度も向上すると思います。
①⑥	○現第二中学校校地については、地域の拠点施設としての活用を検討しているということで大いに期待しています。市民を巻きこみ多くの意見を聞いていけば、良い施設になり、利用者も増えると思います。	● 現第二中学校校地については、公民館機能の移設や防災をテーマに、利活用に向けた検討を行っています。 ● 今後は地域住民や関係者等の意向を十分に把握し、具体的な整備方針を検討していきます。
①⑦	○一中と二中が一つになります。新しい校舎ができると思っていました、大規模改修。しかも、ローリング方式の建て替えと聞いています。将来の津久見市を担う子どもたちにもっとお金をかけて大切にしてほしいです。施設の充実を希望します。	● 間もなく、現第一中学校の長寿命化改修工事に着手しますが、これは、学校施設の長寿命化を推進する国（文部科学省）の方針を踏まえたものです。 ● 新築同様に再生する工法を用いて改修しますので、本市の将来を担う子どもたちの学習環境等について、これまでにない充実した環境に生まれ変わると期待しています。 ● また、現第一中学校は、本計画の防災指針に示すとおり、地震・風水害時の避難場所に指定されており、防災面での活用も考えています。
①⑧	○市中心部のウォーカブル構想は楽しみにしています。少し歩いてみましたが、空き店舗が多いこと、街に統一性がないことなど、まだこれからだと思います。街中に音楽を流す、ベンチや街灯を工夫する、商店や、家に協力して統一性を出してもらうなどこれからが楽しみです。ぜひ市民と一緒にいいものを作ってもらいたいと思います。	● 令和2年度から5か年の計画で、都市再生整備計画事業（津久見地区ウォーカブル推進事業）を実施しており、居心地よく歩きたくなるまちづくりを計画的に推進しています。 ● 具体的には、津久見川や図書館周辺の景観形成、角崎公園・大友町展望広場整備等の事業ですが、これに市道岩屋線道路改良工事が完了すれば、市中心部の周遊性はさらに向上すると考えています。 ● しかしながら、市中心部商店街の活性化や空き店舗対策は、喫緊の課題として認識しています。 ● 今後、市民や関係者等の意向を十分に把握する中で、具体的な取組を検討していきたいと考えています。 ● いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。